

ろくろせやまこふんぐん 3 六呂瀬山古墳群

所在地：坂井市丸岡町上久米田

調査原因：史跡整備に向けた範囲確認

調査期間：令和4年10月～11月

調査主体：坂井市教育委員会

調査面積：92 m²

時代：古墳時代



位置図 (S=1/50,000)

遺跡について 六呂瀬山古墳群は、今から約1600年前に造られた全長143mの規模をもつ1号墳（前方後円墳）を含む4基で構成された古墳群です。古墳時代の越前地域を知るうえで、重要な遺跡と評価され、平成2年に国指定史跡となりました。

主な遺構 調査対象である六呂瀬山1号墳は、標高約200mの山頂に立地しており、自然の尾根を利用して築造されています。今回の調査では、前方部裾部を確認し、平成30年度の調査で明らかになった後円部裾部と併せて、全長143mの規模を持つ前方後円墳であることがわかりました。また、後円部東側に位置する張り出し部では、いえがたはにわ家形埴輪の一部であるかつおぎ鯉木やまるぞこつぼ小型丸底壺、食べ物を模した土製品等、とせいひん祭祀に関する遺物が出土しています。

さらに、ばいちょう陪塚と思われる2号墳の調査では、ふきいし葺石や埴輪といった外表施設は確認できず、主体部部分も一部にほこう墓壇底の残存部を確認できるものの、広い範囲でかくらん攪乱されていることがわかりました。

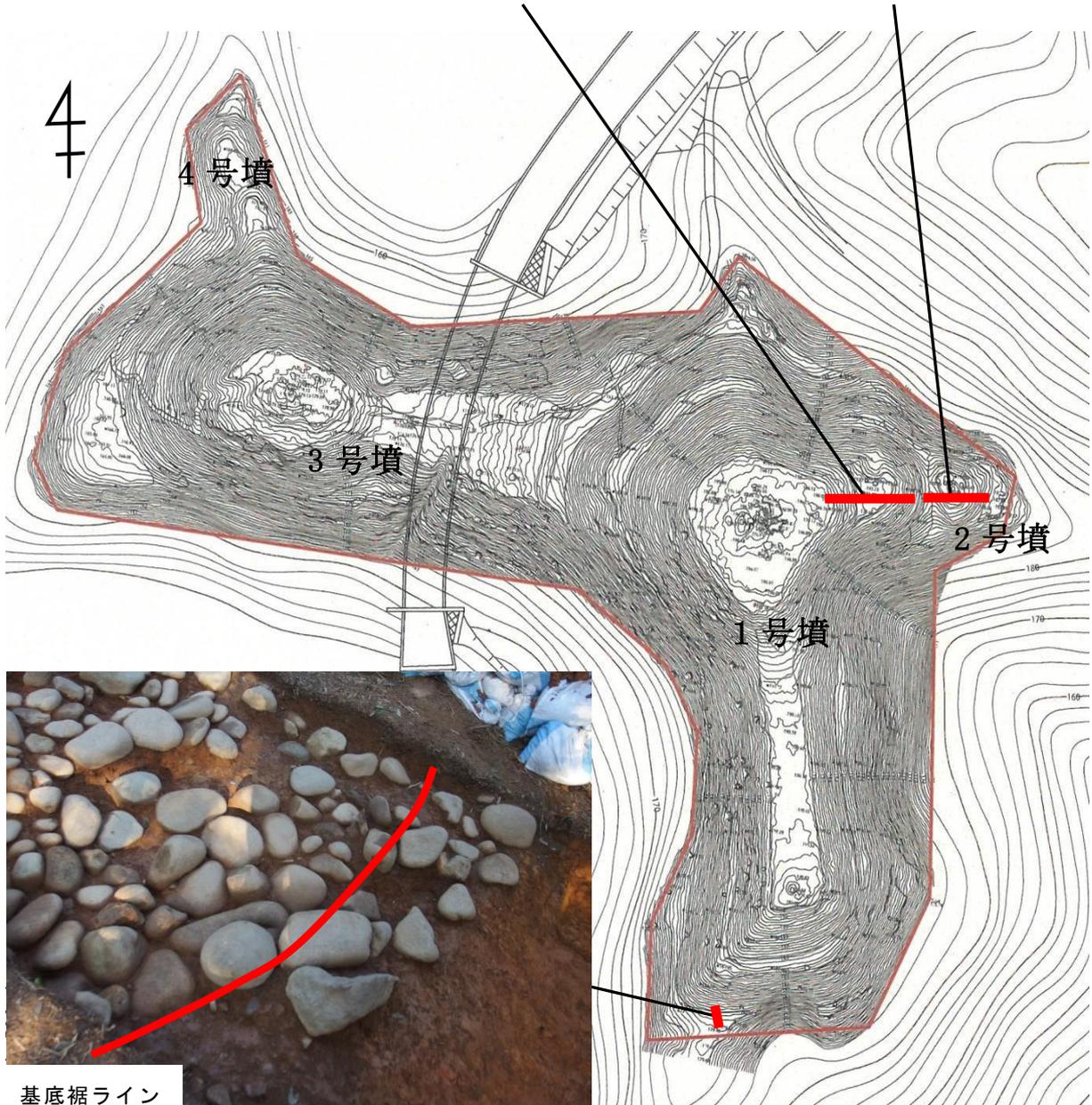
主な遺物 本調査で出土した主な遺物は円筒埴輪、家形埴輪の一部である鯉木、小型丸底壺、食べ物を模した土製品等です。これらの遺物は張り出し部から主に出土しました。
(小林美土里)



1号墳張り出し部埴輪等出土状況（南から）



墓壙底残存部
2号墳墳頂主体部完掘状況（南から）



基底裾ライン

1号墳前方部南西側裾ライン検出状況（南西から）